

富山県アイバンク  
だより

目に光を

相手の目を見て話せる幸せ。

この幸せをまだ見ぬ人へ。



森本誠一郎

# 献眼者ご芳名

平成15年5月～平成16年3月まで

## 平成15年

5月	故	福田	静子様	魚津市
7月	故	室山	亨様	大門町
8月	故	松島	明江様	黒部市
	故	谷口	昌幸様	福岡町
	故	匿名	希望	富山市
	故	新谷	菊枝様	高岡市
11月	故	村	清様	富山市



富山県庁特別室において感謝状を受けられたご遺族の皆様

## 平成16年

2月	故	江守	正三様	富山市
	故	匿名	希望	砺波市
3月	故	佐藤	澄子様	富山市
	故	東野	政雄様	富山市

—謹んでご冥福をお祈り申し上げます—



石澤福岡町長より故谷口昌幸様ご遺族へ感謝状伝達  
(左から 石澤福岡町町長・故 谷口昌幸様ご遺族)  
(井村アイバンク名誉理事)

理事長あいさつ

## 献眼運動にいつそうのご理解を

財団法人 富山県アイバンク  
理事長 高田 眞

平素は、当財団に対する深いご理解とご協力をいただいております。お蔭様で、財団を構成するライオンズクラブ・富山県・県社会福祉団体のご支援のもとに、視力障害者支援の要として順調に運営が行われており誠に感謝に堪えません。

さて、今回もスタッフ一同の素晴らしいアイデアにより『富山県アイバンクだより（第10号）』をお届けすることができました。「献眼登録で目に光を」《あなたの善意を、待っている人がいます。》をテーマに、各方面からの寄稿により編集いたしました。お暇な折にご一読いただき周囲の皆さんにもPRしていただければたいへん有難く思います。

ところで、全国でもっとも献眼活動が進んでいるといわれる、静岡県アイバンクについて知る機会がありました。静岡県における昨年1年間の献眼提供者が175名にも達していたこと、そして驚いたことには住民全体が献眼に取り組んでいるという地区があることです。静岡県駿東郡小山町、献眼提供者数が44名、御殿場市25名など、これらの町内では「亡くなられたらアイバンクへ」ということが定説になっているというくらいに住民との関わりが深く、理解が得られるようになっているとのことでした。

去る本年2月7日に富山国際会議場において北陸でははじめての『アイバンクサポーター認定講習会』が開催されました。外の猛吹雪にもめげず、多くの熱心な皆様にご受講をいただきましたが、私たちの献眼運動に一層の理解が得られることを念じてやみません。静岡県の例にとまでは申し上げられなくとも、富山県民全体に献眼運動の輪が徐々に広まっていくことを期待したいと思います。

どうぞ宜しくお願い申し上げます。

## 主人と共に私も

村 満智子

昭和61年、ライオンズクラブ国際協会334D地区・地区ガバナーの重責を終えた夫は、家族との約束で人間ドックでの検診を受けました。永年お酒をこよなく愛してきた夫は、神妙に初期胃ガンの宣告を受け、先生方は、転移の心配からと全摘をされましたが、そのお陰で以後17年、最後までガンの再発はありませんでした。

平成3年の大晦日には、ご用納めの挨拶に行った従業員が「会長の様子がちょっと変です」と伝えてくれ、急いで部屋に行くと、筆談でもしたいのかベッドで手を動かしておりましたので、紙やペンを渡しても持つ事もなく、救急車を呼ぶ事になりました。

脳梗塞との事で一昼夜意識不明でしたが、発見が早かったことで四肢の麻痺もなく、とても幸運だったと喜びあいました。

夫はゆったりとした船旅が好きで、折々に出向きましたが、平成10年には、息子の心遣いで、3人の孫と共にカリブ海でのクルーズに参加し、船内での大がかりなマジックや、華やかなショーを楽しみ、とても満足しておりました。

15年に入りましてから食事の時間がとても長くなり、先生にお話ししたところ、「梗塞になると嚥下作用が弱まるので、どんな物もゼリー状にして喉を通り易くしてあげる様に」との事で、私なりに懸命に努めていましたが、徐々に栄養の吸収も弱まり栄養失調の状態になり、6月には入院となり、その後は点滴づめの毎日でしたが半年後、肺炎の高熱で、あつと言う間に他界してしまいました。熱が出た2日目、脇の氷嚢を替えようとして近づくと、「貴女にはえらい苦勞をかけるねー」と言ってくれましたが、私は「えーえー、氷を替えてくるわね。」と、そそくさと部屋を出てしまい、それが最後の会話となり、思い出しても心惜しく残念に思われます。

人は矢張り独りで生まれ独りで彼の地に行かねばならぬ事を痛い程思い知らされました。

病院では懇ろな見送りを頂き、自宅に入りましてから、ライオンズクラブに籍を置く息子がふと献眼登録の事に気付き、早速アイバンクに連絡を取りすみやかに処置を頂き、夫の遺志をしっかりと果す事が出来、息子には心から感謝をしております。と申しますのも、主人と共に私も献眼登録をしていながら、いざと言う時には失念していた様に、矢張り複数の人に伝えておかねばならないものと、改めて考えさせられました。

夫の角膜は今どなたかのお役に立ちながら生かされている事を思う時、夫はまだ完全に亡くなってはいない—と言う思いで胸が熱くなります。そしてライオンズクラブとのご縁を心から感謝し、関係の皆々様に改めて深く御礼申し上げたいと思います。

(平成15年11月20日献眼 故 村 清様 [海老亭会長])

献眼者ご遺族の手記

## 父がどこかで生きている

荒木 直子

立派な表彰状を頂きありがとうございました。アイバンクの皆様にはお世話になりました。

お陰様で無事、父の念願であった献眼ができました。60歳の女性の方に提供され、父の心が宿ったことを知り、父がどこかで生きているようで嬉しいです。父の死の寂しさからこんな喜びが生まれた事に感謝です。

昔かた気で頑固な面もありましたが、人とほがらかに話すやさしい父でもありました。砺波の散居村で次男として生まれ、軍人を志願し、満州に行きました。そこで私達2人の娘が生まれ、大隊長として沖縄へ行き捕虜になりましたが無事帰還してきました。戦後の混乱期を一生懸命生き、平和で豊かな時代をみて、生きる為の信仰を学び、人の為になる喜びを知り、自分は世界一の果報者であると自負しておりました。

その頃、昭和46年に献体、昭和56年に献眼のご縁を結びました。遺書はもちろん、遺稿も沢山書き残してくれました。私には今、少しも理解できませんが、これからゆっくり勉強して父の伝えたい事をわかりたいと思います。遺言に従って2月10日、妹の家族と親族だけのお通夜をしてお別れをしました。

今年も花見に行こうねと新年に約束していましたが心に心残りです。献体より帰ってこられたら、遺骨を抱いて常願寺川の花見にでかけようと思っています。

藤の木病院の院長先生、看護婦さん方にやさしい介護を受けお世話になったことを心より御礼申し上げます。

また、県立中央病院で脳幹出血と宣言され、父の最後を見て下さいました青木先生、婦長さん、あたたかいお見送りをありがとうございました。



平成16年2月9日献眼  
新湊海王丸パークにて  
故 江守正三様

合掌

## 献眼登録のお願い

多くの方は物を見る、見えるということをあたりまえに生活しています。しかし、突然視力を失ったらあなたはどうしますか？  
何らかの原因で眼の表面の角膜が濁ってしまうと視力が低下します。そして、一度濁ってしまった角膜は二度と透明にはなりません。これらの角膜疾患の患者さんが視力回復するには、角膜移植しか方法がありません。しかし、角膜は善意により献眼してくださる方がいないと行なえない手術です。アイバンクでは死後、献眼して下さる方の登録活動を行っています。

**問い合わせ先・申込先**      ~皆様のご協力をお願いいたします~

〒930-0194 富山市杉谷2630番地 財団法人富山県アイバンク  
TEL(076)434-5710 FAX(076)436-0146 E-mail:info@toyama-eyebank.com  
または、各ライオンズクラブ事務局まで

いざ献眼！  
連絡はどうぞすれば  
いいの？

登録をしていなくても  
献眼は可能です。

**献眼窓口**

TEL(076)434-2281  
富山医科薬科大学

「献眼です。」と  
おっしゃってください。

## 百歳の角膜この世に生き継がむ

(社)富山県善意銀行理事  
富山家庭裁判所家事調停委員  
(財)富山県アイバンク 理事  
清水 英子



数年前に出会った本の一つに、ライシャワー夫妻に関するものがあった。エドウィン・O・ライシャワー博士は、歴史学者として、特に駐日大使として日本と深くかかわった。あらゆる層の日本人に接し、当時の日本の厳しい情勢、日米安保、ベトナム戦争という時代に日本の良き理解者として多大な貢献をされた。しかし19歳の青年による刺傷事件にあい、手術時の大量の輸血からおこる肝炎のため以後26年間苦しみ、最終的には生命を失う原因となった。

本人の希望通り尊厳死で、その後のことも遺言どおり遺族により行われた。自分の年齢を思い合せて強い印象がのこった。日頃家庭裁判所の調停に関わって親族間のトラブルを見聞きしている事もあり、自分の人生の後始末は自分の責任であると思った。

以前よりの富山県善意銀行に加えて、アイバンクに御縁があったのはその頃である。そしてライオンズクラブを中心とする献身的な活動に触れた。井村東司三前理事長を支える各理事の真摯な取り組み、公私共仕事をかかえていらっしゃる会員が、この厳しい時代に献眼、経済面の援助等活動を支えていらっしゃる。仕事を理解して下さる御家族のおかげで、かけ廻っていらっしゃる事務局の入江真理さんには頭が下がる。

昨年1月、日本アイバンク協会大黒幸雄常務理事の母上の葬儀があった。遺影を拝しながら自分の献眼とは違い、母の献眼をされる御遺族の気持ちを思った。その後アイバンクサポーター講習会で、大黒氏は母上の献眼にふれられ「最後の親不孝のような気がして…」とおっしゃった。アイバンクのために活動される方の人間的な心の内をのべられたのが印象深かった。御遺族としては当然の気持ちと思う。

高岡市は晋越中国庁が置かれ、大伴家持が国守として在任した土地である。昨年10月3日、高岡万葉まつり協賛、第23回全国万葉短歌大会が行われ、全国より845首の応募があった。思いがけず私の歌が佳作に選ばれた。

百歳の角膜この世に生き継がむ

瞳さやけき媼の遺影

献眼者の存在、こういう活動を選者は理解して下さった事を有難く思った。

厳しい現実のなかで、高田真理事長を中心としたこの活動が社会の理解と協力が得られるよう願っている。

最後に目の不自由な方達の歌集「まなざし」より一首

見えずともめくれば匂う初暦

美しき日日眼裏に浮く

山口県 大谷展生

以上

# ライオンズクラブ奉仕の原点

富山神通ライオンズクラブ  
2003-2004 四献委員長 南塚 敏彦

富山神通ライオンズクラブでは認証35周年の記念事業とアイバンク事業への支援活動の一環として、03年7月23日富山カントリークラブにおいて、LCメンバーや一般の方々総数200余名の参加により盛大に『アイバンクチャリティーゴルフ大会』を開催しました。

当日の式典では、宮崎忠一会長から富山県アイバンクの高田眞理事長に当日の参加者からのチャリティー募金331,850円とクラブメンバーによって勧誘された献眼登録者132名の名簿が贈られました。また、当日は実際に角膜移植手術を受けられ『ドナーと多くの人の優しさをもって光を取り戻された』富山市の大井眞理さんの体験発表もあり多くの参加者の感動を呼びました。このことは、一般の方々にアイバンク事業への理解を深めていただく貴重な機会ともなりました。

富山神通ライオンズクラブは、今後さらにアイバンク事業への普及啓発を含め地域社会に密着した地道な支援活動に積極的に取り組んでいく所存です。



宮崎会長よりチャリティー募金を受け取る高田理事長



チャリティーゴルフ大会参加者へ献眼登録をお願いするメンバーの皆さん



(富山県アイバンク 名誉理事)

「仰せの通りであります。」  
「うん、最後に献眼を果たして余の前に現れたと、ウン、よし、地獄へやりたい面構えだが許してやる。退がれ。」

「余の言うことに逆らうな。—それから、ライオンズクラブか、これも楽しくやった方が、いやいや楽しくはいかんとは言っとらん。黙っとれ。最後はアイバンクに熱をいれたと。—苦労して、汗も流したが、多くの人の世話になったことを忘れてはいかんど。解つとるな。」

「余が閻魔大王である。頭が高い。」  
「ハイッ。」  
「流石、元軍隊だけに、いまのお辞儀はよろしい。許す。ところで、お前は長く社会福祉に係わって来たようだが、楽しんでやっていたな。」  
「楽しくやってはいけないのですか。苦しんでやるべきだったのですか？」

## 「或る夜の夢」

井村東司三

# いつかは光を取り戻した人と花見例会を

氷見ライオンズクラブ  
2003-2004 会長 藤田 政治

私たちのクラブでは月見・花見例会の年二回、前理事長のL. 井村東司三名誉顧問をお迎えし、募金箱を廻して財団法人アイバンクへ寄付を行っています。金額は各自の自由、思いもそれぞれ、そしていろいろな話が出ます。

1991年にライオンズクラブの先輩方が懸命に努力をし、苦労を重ねて財団法人富山県アイバンクの設立にこぎつけた事、ヘレン・ケラーが1925年のアメリカの年次大会で盲人のための援助を訴え、それ以降ライオンズクラブでは盲人、その他視力障害者への援助が主要な奉仕活動になり、その「視力」に関するアクティビティの一環としてアイバンク活動に力を込め、取り組んでいる事、現在の状況、様々な問題点、今後の課題などなど…。

アイバンク活動のなかでの「献眼の意思を固めアイバンクに献眼登録をする人の思い、眼球提供をする献眼者の遺族の覚悟、角膜提供を受ける人、その家族の思い」などに接する時の困難さは想像するに余りあり、そのような状況の下、ライオンズクラブはメンバーの知恵を出し合いながら献眼による角膜移植を実現し続けている事なども。

そして終わりには、ライオンズクラブはそのような困難なアイバンク運動を推進できる数少ない可能性を持つ組織のひとつであるという話に行き着くのです。

氷見ライオンズクラブではこれからもアイバンク運動に取り組んでいきたいと思えます。



例会での募金活動



募金のお礼を申し上げている井村名誉理事

## ★ さわやか理事さん紹介

### 藤巻篤子さん

家族を愛する人  
いつもかわいい人  
シャンソンを心で歌う人  
みんなが好きになる人  
献眼の尊さを説く人



### プロフィール

藤巻眼科クリニック院長  
基礎スキー検定1級合格  
アイバンク支援チャリティーコンサート主宰  
ATSUKO永遠の愛(オーバードホール)主宰  
レッツクリスマス主宰(13回)  
講演+ライブで活躍

# はじめての献眼例を経験して

砺波総合病院 看護師  
院内コーディネーター 鈴木洋子

2年前、ICU勤務となったのをきっかけに院内コーディネーターを命じられました。1名しかいなかった院内コーディネーターは3名に増えましたが、具体的な活動内容については暗中模索の状態でした。当初は腎臓提供のコーディネートを中心として考えていましたので、まずは県の腎移植コーディネーターとの月1回の症例検討や研究会への参加などから活動を開始しました。

450床の病院に看護師3人だけのちっほけな会ではじまりましたが、2003年6月からは院内の臓器・組織移植に関する委員会として承認され、組織的に活動できる体制が整いメンバーも増員されました。

そんな矢先の2003年秋、転落事故でお亡くなりになった方から、当院初の腎提供（富山県でも3例目）が行われました。はじめての経験で無我夢中で携わりましたが、無事ご遺体をお見送りし、ほっと一息ついて振り返ってみると、自分の行動が患者様やご家族よりも、医療者サイド中心のことが多かったことに気づき深く反省しました。

それから2ヵ月後、30歳代女性がCPA（心肺機能停止状態）で搬送され、救急室でお亡くなりになりました。この方は生前から献眼の意思をご家族に伝えていらしたため、献眼の手続きをとってほしいと家族から救急室を通して申し出がありました。角膜の提供に対しても未経験だった私は、またドキドキしながら救急室にゆきました。そのときは県アイバンクの方の電話番号さえ探せず、結局旅行中だった別の院内コーディネーターに尋ねて連絡をとりました。実は私は献腎を主に勉強していたため、献眼に関しては十分な知識がなく、このときはアイバンクに登録していなくても献眼できるということすら知らなかったのです。家族の方々の同意があれば未登録でも献眼できるとの返事を頂き患

者様の情報収集を行いました。

死亡は脳出血。その日はご主人の誕生日だったので、ご主人と自分の両親とで温泉旅行に行く予定でした。ご主人はいつもより早く仕事を終え、二人暮らしのアパートへ急ぎ帰ったところ、居間で倒れて意識のない妻を発見されました。すぐに救急車で当院へ搬送、蘇生処置が施されましたが結局帰らぬ人となりました。前日にはご主人へのプレゼントを用意なさっていたそうです。ご両親はそのころ一足先に温泉に行き、お二人の来るのを待っていらしたとのこと。おいたわしい限りでした。患者様は主婦業のかたわらボランティア活動にもいそいそしておられ、自分が死んだら自分の目を誰かのために役立たいといつもおっしゃっていたそうです。突然の死でしたが、ご主人はそのことを思い出され、できるなら、妻の希望をかなえてあげたいと看護師に相談されました。悲しみにくれるなか、ご両親もご兄弟も献眼に同意してくださいました。充分な対応ができたとはいえないかもしれませんが、前回の献腎の教訓をいかし、今回は、患者様やご家族のために何ができるかを中心に考えた行動をとるよう心がけました。アイバンクの方には具体的な処置の仕方や注意事項を、また最近では入院中から献眼を希望される患者様と接触をとられるなど、積極的な啓蒙活動をされていることを学びました。

この経験から簡潔でわかりやすい当院独自のマニュアルの必要性を強く感じました。早速献腎および献眼マニュアル作成にとりかかり、近々救急室および各病棟に配布する予定です。

このような生と死のかけがえのない一瞬に院内コーディネーターとして携われることに感謝しています。今後は院内教育や地域への広報活動にはげみ献眼への正しい理解が広がるよう働きかけていきたいと思っております。



## 《モハマド君のニュースを聞いて》

富山県眼科医会  
会長 森田 嘉樹

イラクで襲撃され殺された橋田信介さんというジャーナリストの橋渡しで、イラク中部で戦闘に巻き込まれ左眼を怪我した少年モハマド・ハイサム・サレハ君（10歳）が治療のため日本を訪れました。NHKでもニュースとして取り上げていましたし、各新聞もトップニュースの扱いでした。多くの人々の善意の結晶を見るようなニュースでした。このニュースを聞きながら思いついた事を書きだしてみました。

イラクでは今も戦闘状態にあつて危険と隣り合わせで多くの人々が生活しておられることをより身近に感じました。フセイン時代はもっと悪い状態だったのでしょうか。アメリカ軍が進駐してきて少しは良くなったのでしょうか。モハマド君はイラクで治療を受けたらしい様子でしたがイラクでの病院の現状はどうなのでしょう。イラクの人々から医師や医薬品の援助要請はないのでしょうか。そのような要請があつてもイラクは危険地域で医師等の派遣は出来ないのでしょうか。イラクでのボランティア活動は我が身を省みず決死の覚悟の人だけが自己責任でやっておられるのでしょうか。赤十字やアメリカへはモハマド君のような子供の援助要請はされていないのでしょうか。モハマド君の治療は戦闘状態で充分になされていないのでしょうか。日本で手術を受けた後、イラクへ帰つてからの治療は保証されているのでしょ

うか。モハマド君の他に怪我した子供はいなかったのでしょうか。どうしてモハマド君が選ばれたのでしょうか。

モハマド君のニュースから次々と疑問がわき上がってきましたがどの新聞を見ても全く同じ内容で私の疑問にこたえてくれません。今回はモハマド君ばかりにスポットライトが当たっている様に見えますが彼を取り巻く環境についての報道がもっとなされるべきと思いました。それが亡くなった橋田信介さんの意思、ジャーナリストのつとめのように私には思われました。

大勢の助けを求めている人々の中からある特定の人を選ぶ作業は難しいことです。選ばれなかった側から見ると不公平なものだと思います。いかに公平な選択をするかが非常に難しい問題です。角膜移植のコーディネーターといわれる人々は選びの専門家です。移植医療の現場では私情をまじえず誰を選ぶか長年にわたる経験から公平なルールが出来ています。情に流されやすい私には難しい仕事です。イラクでは病気の治療を受ける場合の公平さは確保されているのでしょうか。医療現場での不公平さを見るに見かねた橋田信介さんの目に止まった最初の子供がモハマド君だったのでしょ

うか。どうしてモハマド君が橋田信介さんに選ばれたかは神のみが知ることだと思

## 見えることの大切さ

2003～2004 地区ガバナー 高田 順一

季節外れの台風2号が日本列島から遠ざかり、初夏らしい爽やかさと青空が戻ってきた5月22日、富山国際会議場に於いてライオンズクラブ国際協会334-D地区第50回年次大会が開催されました。1952年フィリピン・マニラライオンズクラブがスポンサーとなり日本で最初の東京ライオンズクラブが結成されました。その後、日本各地にライオンズクラブが結成され第1回地区年次大会が1955年神戸市で開催されました。それから数えて50回目の地区大会で、全国32地区でも記念大会として趣向を凝らした内容で開催されたようです。

当地区では従来行っていた式典後の懇親会を取りやめ、山口大学西田輝夫教授による「見えることの大切さ」をテーマにした講演会を午後1時から開催いたしました。

西田先生は高齢化が進む日本では、眼に関する生活の質を保つ新たな取り組みが必要なこと、失明に至る眼の病気や角膜移植による視力の回復事例などをパワーポイントと動きのある大画面を活用して、視覚に訴える分かりやすい講演をいただきました。ライオンズクラブとアイバンクの歴史や深いつながりにも触れていただき、ライオンズクラブの役員が多数を占める参加者に改めてこの運動の大切さを認識していただけたものと存じます。

今回の講演会の実現にご協力いただきました関係の皆様には感謝を申し上げます。



## サポーター講習会開催

2月7日土曜日、富山国際会議場において県内のライオンズクラブのメンバーを中心に76名の参加のもと、アイバンク協会認定サポーター講習会を開催いたしました。

当日は、例年になく大雪という天候の中、多くの皆様にご参加いただき、無事講習会を終えることが出来ました。高田眞理事長よりご挨拶のあと、日本アイバンク協会常務理事で、サポーター制度委員長の大黒幸雄当アイバンク副理事長がサポーター制度について説明を行いました。続いて日本アイバンク協会常務理事で、サポーター制度副委員長の山口大学眼科教授西田輝夫先生よりサポーターの役割についての講演がありました。受講いただきました皆様は、アイバンクサポーターとして5年間認定されます。

サポーターに認定された方は以下の通りです。

### 日本アイバンク協会認定サポーター

・富山市	・新湊市	・大山町	・小杉町
金井澄子 清水英子	宝田保明 野上茂樹	岡本武勇	山本敬子
高田 眞 本村哲明	毛利 公		
藤沢 実 宮岸 武		・上市町	・大門町
築瀬憲生 宮島 清	・魚津市	高井芳樹 富樫宗治	川口義春 島田和芳
西野義隆 岡田共以	寺崎達二 大崎利明	平井節雄 米田栄一	
波岡一子 舘 良一	沢井 進		・庄川町
奥野健一 宮崎忠一		・入善町	木村繁夫
森田忠雄 南塚敏彦	・滑川市	米山六博 上田和男	
足谷誠治 松 潔	小幡高勢 前佛栄一	道原英克	・福野町
田口徹忠 石黒嘉明	細川文博 松井信彦		関井まゆみ 北川隆男
熊谷郁郎 笹山宗博	毛利 功	・朝日町	中西久彦
船屋 勉 入江真理		川端券吉 林 正康	
	・黒部市	水島 巽	・福光町
・高岡市	松倉正機 桶屋博明		野村謹吉 山村正然
笠島 學 高田 譲		・八尾町	
石灰昭光 若森征雄	・砺波市	森 弘	・福岡町
清都勇之 中村知呂	篠田正治 大野実留		井村東司三 伊勢豊彦
高田浩平 牧 亨		・婦中町	
今村吉太郎 延澤泰明	・大沢野町	俣本吉章	
長井弘仁 山下光造	増山精一		

# ご芳志ありがとうございました。

敬 称 略

## □寄付者 ご芳名 平成15年6月～12月

### ☆一般

かもの会 154,000

### ☆ライオンズクラブ関係

ライオンズクラブ奉仕銀行 1,250,000

阪神容器株式会社(富山LC) 300,000

岩黒製作所(高岡中央LC) 300,000

寺崎達二(魚津LC) 100,000

メガネハウス(富山水橋LC) 50,000

ライオンズクラブ2R2Z 100,000

ライオンズクラブ2R3Z 100,000

入善ライオンズクラブ 100,000

富山雷鳥ライオンズクラブ 55,881

大山ライオンズクラブ 50,000

富山ちゅうりっぷライオンズクラブ 36,060

富山西ライオンズクラブ 50,000

## □寄付者 ご芳名 平成16年1月～5月

### ☆一般

北日本新聞社事業部文化センター(カウントダウン花火) 490,815

北日本新聞社事業部文化センター(新春色紙展) 44,317

後谷 文 100,000

富山第一銀行ファーストえびす会 100,000

### ☆ライオンズクラブ関係

高瀬清香(富山LC) 100,000

鈴木健双(砺波LC) 100,000

新井司朗(富山西LC) US\$1000

八尾婦中ライオンズクラブ 500,000

3Zゴルフ愛好会 100,000

滑川ライオンズクラブ 5,000

## □賛助会員 平成15年6月～12月

### 個人会員

#### ☆一般

石田ひとみ 斉藤周子 山下 泉 藤巻篤子  
山本明彦 新田正昭 片山寿夫 千羽眼科医院  
越前朝美 吉田和義

田中孝之 田畑裕二 土井光男 栃谷浩三  
豊岡 正 中野道嘉 中村三郎 布村清二  
花崎秀行 樋口善次 平野泰康 藤倉崇之  
俣本吉章 松田義博 水間紀雄 南塚正夫  
室 敬朗 森 雅志 安川寿夫 安田 進  
山田政夫

### ☆ライオンズクラブ関係

#### ・富山みなとライオンズクラブ

渡辺和幸

#### ・富山雷鳥ライオンズクラブ

岡田幸光 太田 茂 森 弘 竹原幸市

波岡邦夫 舟瀬 勝 清水幸之助

#### ・富山ちゅうりっぷライオンズクラブ

岡田共以 長勢知子 波岡一子 古田千恵子

広野登志子

#### ・富山西ライオンズクラブ

青出辰夫 秋田俊康 浅野紀男 足谷駿三郎

足谷誠治 新井司朗 荒木孝吉 内山芳一

老本義則 大郷 穰 岡畑康一郎 加藤竹男

佐賀野昭一郎 澤田孝之 住吉勝博 高見 豊

#### ・大沢野ライオンズクラブ

小田 昇

#### ・黒部ライオンズクラブ

浅野 博 伊東景治 井上敬之 上田洋一

延対寺篤 大坪作磨 大坪 健 荻野 功

荻野幸和 桶屋博明 紙谷晃一 亀谷政春

川端康夫 川本元充 狐塚省蔵 経塚正久

米屋正治 小柳信夫 神谷尚機 神谷文雄

坂井 勉 佐藤進也 島田興治 島田正豊

下坂芳宏 菅野寛二 助田義之 大上戸茂夫

武隈 勉 田中義三 飛島邦彦 中井紘明

中島勝己 中島重春 中瀬 馨 中田陽一

中西清一 中野保夫 中谷唯一 中谷延之

濱田浩志 舟屋悦郎 堀内康男 松井克憲

松倉正機 三井適夫 室生新二 森野泰夫  
 山口正人 吉田重治 米澤直昭 米田 博  
 渡部佐敏 四月朔日丈範

・入善ライオンズクラブ  
 道原英克

・高岡古城ライオンズクラブ  
 若森征雄 嶋津芳宏 大坪弘昌

・高岡伏木ライオンズクラブ  
 常川清美 中山勝義 山崎義平 関本正則  
 中村嗣男 瓶谷哲哉 山下和夫 塚田敏夫  
 鳥山 博 高田 裕

・砺波ライオンズクラブ  
 廣瀬利行

・となみ東ライオンズクラブ  
 斉藤謙一

法人会員  
 ☆ライオンズクラブ関係  
 ・富山雷鳥ライオンズクラブ  
 十方設備工業株式会社 株式会社オカダアート

・富山セントラルライオンズクラブ  
 ・富山昭和ライオンズクラブ  
 ・入善ライオンズクラブ  
 モリタ建設株式会社 株式会社黒東アメニティー公社

・高岡伏木ライオンズクラブ  
 東光運輸株式会社 有限会社平野石油店  
 丸進商事株式会社 高建設株式会社  
 株式会社ホクジー 有限会社北高運輸  
 有限会社笹島商事 ヤマ自動車株式会社  
 富士電子株式会社 株式会社セリック  
 有限会社山下建設設計事務所 渡辺板金工業株式会社  
 伏木海陸運送株式会社 FKKエンジニアリング株式会社

□賛助会員 平成16年1月～5月

個人会員

☆一般

吉田昭義 網 美保子 金井澄子 清水英子  
 石田ひとみ 斉藤周子 山下 泉 藤巻篤子  
 山本明彦 新田正昭 片山寿夫

☆ライオンズクラブ関係

・富山みなとライオンズクラブ  
 渡辺和幸

・富山雷鳥ライオンズクラブ  
 岡田幸光 太田 茂 森 弘 竹原幸市  
 波岡邦夫 舟瀬 勝 清水幸之助

・富山ちゅうりっぷライオンズクラブ  
 長勢知子 波岡一子 古田千恵子 広野登志子

・八尾婦中ライオンズクラブ  
 頼成善則

・大山ライオンズクラブ  
 岡本武勇

・富山西ライオンズクラブ  
 青出辰夫 秋田俊康 浅野紀男 足谷駿三郎  
 足谷誠治 新井司朗 荒木孝吉 五十嵐呈次  
 内山芳一 蛭谷正俊 大郷 種 岡畑康一郎  
 加藤竹男 佐賀野昭一郎 澤田孝之 住吉勝博  
 田中孝之 田畑裕二 土井光男 豊岡 正  
 中野道嘉 中村三郎 布村清二 花崎秀行  
 樋口善次 平野泰康 藤倉栄之 俣本吉章  
 松田義博 室 敬朗 森 雅志 安川寿夫

安田 進 山田政夫

・大沢野ライオンズクラブ

小田 昇  
 ・入善ライオンズクラブ  
 中島 隆 市岡義望 道原英克

・魚津ライオンズクラブ

石川雅朗 高岸和男 寺崎達二 広田清定  
 岡本賢三 伊東紀一 松原正治 清河 衛  
 小坂 章 吉崎 実 塚本 滋 富山 剛  
 大沢範洋 境 伸 石橋嘉夫 石崎由則  
 山林和光 慶野耕一 木下泰治 松田道廣  
 稗苗清吉 高縁 勲 油本 茂 袋井隆俊  
 谷口正明 河崎直通 本元幸俊 橋本浩八郎  
 高縁 勉 八木 洋 佐々木幹郎 小西 清  
 沢井 進 玉島昭男 石川精二 入井孝博  
 福田正博 高松静夫 大崎利明 石崎敬治  
 山崎昌弘 野崎唯吉 長岡昭男 鈴木克比己  
 浜多等志 仲俣 勲 元野勝行 清水憲治  
 宮島徳康 虎谷武道 北村雄治 宮野高司  
 二塚一郎 保里真理子 秋本政亮 山崎久子  
 澤泉 弘 澤本了輔 葉勢森 勉 住吉正弘  
 川上祐子 新浜恵子

・高岡ライオンズクラブ

天野隆久 在田利男 浅野正幸 朝山 浩  
 荒木 浩 出村康夫 藤森秀章 濱野正治  
 般若 保 原 芳弘 林 眞宰秀 樋口正樹  
 広島康雄 細呂木孝之 早木康満 稲見 晃

加茂正巳	金森伊平	笠島 學	川端徹夫
国分繁昭	小森泰明	米納 勲	米谷年晴
倉谷 誠	松永 彰	松木純一	松島保男
南林 進	宮木隆至	宮重 清	宮田靖雄
宗田憲治	村上 明	村上慎一	村谷正博
長井弘仁	中川正俊	中川義男	中村剛靖
中島 猛	西村 盛	能作克治	大野匡博
折橋毅一	佐武峻三久	佐藤孝志	澤田淳一
塩崎利平	城 外喜男	炭谷長男	杉谷与四雄
高田政公	高田 環	竹平栄次	竹中勝治
滝内茂雄	丹保司平	辻井義雄	上野八太郎
和田 修	若野龍広	渡辺正光	渡辺守人
綿貫 武	山口敏雄	山内辰夫	吉本輝志

四津井宏至 四ツ柳信一

・高岡古城ライオンズクラブ

若森征雄

・高岡志貴野ライオンズクラブ

鎌谷克彦 山崎与四之

・新湊ライオンズクラブ

水越二郎

・砺波ライオンズクラブ

野村謹吉 廣瀬利行

法人会員

☆ライオンズクラブ関係

・富山ライオンズクラブ

株式会社押田建設設計事務所  
北日本工芸  
司法書士藤沢実事務所  
株式会社タイワ精機

富山スガキ株式会社  
宮岸株式会社富山支店  
高瀬公認会計士事務所  
三友技建株式会社

・富山雷鳥ライオンズクラブ

株式会社オカダアート  
十方設備工業株式会社

株式会社広野

・富山ちゅうりっぷライオンズクラブ

・八尾婦中ライオンズクラブ

株式会社吉田住宅設備

有限会社藤井産業

・富山神通ライオンズクラブ

有限会社富山県義肢製作所

弘法工業株式会社

・富山西ライオンズクラブ

富研工業株式会社

・入善ライオンズクラブ

モリタ建設株式会社

株式会社黒東アメニティー公社

・高岡ライオンズクラブ

医療法人光ヶ丘病院

・高岡古城ライオンズクラブ

株式会社セイアグリーシステム

## 富山県アイバンクの ホームページ

<http://www.toyama-eyebank.com>

E-mailはこちら

[info@toyama-eyebank.com](mailto:info@toyama-eyebank.com)



・高岡志貴野ライオンズクラブ

富源商事株式会社

・高岡中央ライオンズクラブ

株式会社岩黒製作所

・高岡伏木ライオンズクラブ

東光運輸株式会社

株式会社 MAC

有限会社平野石油店

丸進商事株式会社

高建設株式会社

株式会社ホクジー

有限会社北高運輸

有限会社笹島商事

ヤマ自動車株式会社

富士電子株式会社

株式会社セリック

有限会社山下建設設計事務所

渡辺板金工業株式会社

伏木海陸運送株式会社

FKKエンジニアリング株式会社

・小杉ライオンズクラブ

ミュキ化成株式会社

・砺波ライオンズクラブ

株式会社ガスコムムラ

・小矢部ライオンズクラブ

加越商事株式会社

・となみセントラルライオンズクラブ

# 募金ありがとうございました。

## 平成15年6月～12月

### ☆一般

福岡町社会福祉大会	7,483
石黒眼科医院	27,500
株式会社リーフイー	25,505
藤巻篤子レッツクリスマス	11,220
匿名希望	7,998
越生眼科クリニック	3,100
マリエ眼科クリニック	2,807

### ☆チックタック関係

チックタック小杉インター店	16,724
チックタック問屋センター	14,089
チックタック清水町店	13,031
チックタック本町店	11,804
チックタック野村第5店	10,523
チックタック小杉東店	9,807
チックタック下大久保店	9,111
チックタック伏木古府店	8,739
チックタック針原新町店	8,438
チックタック本郷店	8,185

チックタック国分浜店	7,099
チックタック栄町店	7,013
チックタック黒部三日市店	4,947
チックタック上赤江店	4,852
チックタック下赤江店	3,756
チックタック戸出春日店	3,499

### ☆ライオンズクラブ関係

宮岸株式会社富山支店（富山LC）	5,804
井村医院（高岡古城LC）	7,451
熊谷写真館（高岡伏木LC）	18,295
八尾婦中ライオンズクラブ	13,885
富山神通ライオンズクラブ	331,850
滑川ライオンズクラブ	3,567
魚津ライオンズクラブ	5,340
高岡志貴野ライオンズクラブ	11,334
高岡南ライオンズクラブ	12,101
氷見ライオンズクラブ	30,700
ライオンズクラブ1R2Zゴルフ愛好会	53,000

## 平成16年1月～5月

### ☆一般

石黒眼科医院	2,000
狩野眼科医院	3,944
高木酒店	874

### ☆チックタック関係

チックタック問屋センター店	2,148
チックタック本部	1,125
チックタック伏木古府店	7,195
チックタック富山中屋店	7,422
チックタック中曽根店	3,752
チックタック清水町店	9,361
チックタック上赤江店	3,459
チックタック小杉インター店	13,770

チックタック若富店	7,395
チックタック黒部三日市店	13,000
チックタック江尻店	8,173
チックタック戸出春日店	4,369
チックタック下村店	7,269

### ☆ライオンズクラブ関係

北陸銀行入善町支店（入善LC）	20,119
富山銀行入善支店（入善LC）	4,477
入善町役場（入善LC）	4,567
新川水橋信用金庫（入善LC）	2,248
コスモ21（入善LC）	4,024
JA入善町本所（入善LC）	3,694
上市ライオンズクラブ	30,000
氷見ライオンズクラブ	16,341

# 平成15年度事業報告

平成15年度の献眼登録者は、262名で開設以来の累計は18,456名となった。ドナー情報は13件あり、コーディネーターを行った結果、12名の方から眼球提供を頂いた。内一人は県外での提供となった。角膜移植を受けたのは、17名となった。

医療従事者への啓発活動としてアイバンクジャーナルを配付した。  
富山県アイバンクだより第9号を4,000部発行し、県内関係機関に配付した。  
ホームページを開設し、1年間のアクセス数は、約2,000件となった。  
角膜移植希望待機者は、12月31日現在において5名となった。

- 1月 1日：献眼があった。  
3日：献眼者のご葬儀参列（常務理事・事務局）  
19日：献眼があった。  
20日：献眼があった。監事高瀬氏により平成14年度事業並びに決算報告の監査（於事務局）を受ける。  
21日：監事広野氏により平成14年度事業並びに決算報告の監査（於株式会社広野）を受ける。  
22日：献眼者のご葬儀参列（常務理事・事務局）  
25日：献眼者のご葬儀参列（常務理事・事務局）  
27日：献眼があった。  
31日：アイバンクセミナー参加、スタッフ認定試験受験（事務局入江 於京都）日本眼科手術学会出席（事務局入江）  
2月21~22日：角膜カンファレンス出席（事務局入江）  
27日：北日本新聞において「アイバンク」取り上げられる。  
3月 2日：理事会開催  
7日~8日：東海北陸ブロック連絡協議会出席（理事長、副理事長、常務理事、事務局）  
4月 2日：広報委員会開催（於駅前連絡所）  
16日：ライオンズクラブ1リジョン3ゾーンパーソングolf大会で寄付金を頂いた。富山ライオンズクラブより寄付金を頂いた。  
18日：氷見ライオンズクラブより寄付金を頂いた。  
25日：ライオンズクラブ新入会員セミナーにて講演を行った。（副理事長大黒）  
29日：滑川有恒ライオンズクラブチャーターナイト35周年にて寄付金を頂いた。  
5月 1日：厚生労働大臣感謝状伝達式を行った。（於県庁特別室）  
17日：献眼があった。  
19日：献眼者のご葬儀参列（常務理事・事務局）  
6月 5日：黒部ライオンズクラブ1000回記念例会にて賛助会員全員登録の目録を頂いた。  
13日：理事会・評議員会開催（於とやまサンシップ）  
21日~22日：第7回アイバンクコーディネーターセミナー参加（事務局入江 於岐阜）  
7月 3日：監事高瀬氏により平成15年度事業中間期並びに決算報告の監査（於事務局）を受ける。  
4日：監事広野氏により平成14年度事業中間期並びに決算報告の監査（於株式会社広野）を受ける。  
12日：献眼があった。  
14日：献眼者のご葬儀参列（常務理事・事務局）  
15日：ライオンズクラブ1リジョン2ゾーンゴルフ大会にて寄付金を頂いた。（副理事長）  
23日：富山神通ライオンズクラブチャーターナイト35周年にて寄付金を頂いた。  
31日：第26回全国アイバンク連絡協議会出席（理事長、副理事長、常務理事、事務局）  
8月 1日：アイバンクセミナー出席（事務局）  
9日：日本組織移植学会出席（事務局 於神戸）  
11日：評議員会開催（於富山第一ホテル）献眼があった。  
13日：献眼者のご葬儀参列（常務理事・事務局）  
21日：献眼があった。  
22日：献眼があった。  
24日：献眼者のご葬儀参列（常務理事・事務局）  
27日：献眼者のご葬儀参列（事務局）  
29日：ライオンズクラブ2リジョン2ゾーンガバナー公式訪問にて寄付金を頂いた。（於磯はなび）  
30日：献眼があった。  
9月 1日：献眼者のご葬儀参列（常務理事・事務局）  
3日：厚生連高岡病院師長会にてマニュアル配付させて頂いた。  
7日：富山雷鳥ライオンズクラブ主催の「サマーフェスタ」にて啓発活動のお手伝いをした。  
10日：ライオンズクラブ2リジョン3ゾーンガバナー公式訪問にて寄付金を頂いた。  
21日：滑川・滑川有恒ライオンズクラブ街頭啓発に参加（於プラント3）  
10月13日：黒部ライオンズクラブの啓発活動に参加（於黒部市総合公園）  
16日~17日：「いきいきとやま・第16回健康と長寿の祭典」参加（於 富山県民会館）  
11月 4日：入善ライオンズクラブ例会にて故竹内慎一郎様ご遺族様より寄付金を頂いた。  
5日：富山西ライオンズクラブチャーターナイト32周年記念例会にて寄付金を頂いた。  
9日：福岡町社会福祉大会にて啓発活動を行った。（於Uホール）  
12日：北陸中央病院へ献眼時の手順についての説明を行った。  
20日：献眼があった。  
23日：献眼者のご葬儀参列（事務局）  
30日：第8回アイバンクコーディネーターセミナー参加（事務局入江 於千葉）  
12月16日：富山ライオンズクラブクリスマス家族大会に御招待頂いた。（事務局入江）  
24日：理事会・評議員会開催（於富山第一ホテル会議室）



# 平成15年度収支計算書

(自平成15年1月1日～至12月31日)

## 1.収入の部

(単位：円)

科 目		予 算 額	決 算 額	増 減
項 目	節			
基本財産運用収入	基本財産利息収入	40,000	37,224	2,776
会費収入	賛助会費収入	2,000,000	1,813,000	187,000
事業収入	角膜幹旋手数料	2,000,000	1,800,000	200,000
	強膜幹旋手数料	100,000	0	100,000
補助金収入	富山県補助金	1,500,000	1,500,000	0
助成金収入	日本アイバンク協会助成金	2,500,000	2,500,000	0
	LC奉仕銀行助成金	2,500,000	2,500,000	0
寄付金収入	寄付金収入	1,600,000	1,362,941	237,059
	募金収入	950,000	922,908	27,092
雑収入	受取利息	10,000	2,178	7,822
	その他の収入	15,000	14,970	30
当期収入合計 (A)		13,215,000	12,453,221	761,779
前期繰越収支差額		4,806,851	4,806,851	0
収入合計 (B)		18,021,851	17,260,072	761,779

## 2.支出の部

(単位：円)

科 目		予 算 額	決 算 額	増 減	
項 目	節				
事業費	募集登録費	旅費交通費	50,000	37,050	12,950
		事務消耗品費	50,000	11,142	38,858
		印刷製本費	500,000	457,200	42,800
		通信運搬費	550,000	415,237	134,763
		小計	1,150,000	920,629	229,371
	連絡調整費	諸謝礼	350,000	319,355	30,645
		旅費交通費	350,000	269,780	80,220
		印刷製本費	100,000	77,700	22,300
		事務消耗品費	60,000	59,659	341
		器具消耗費	300,000	288,656	11,344
		器具消耗費(血液検査代)	140,000	101,502	38,498
	小計	1,300,000	1,116,652	183,348	
	眼衛生思想普及啓発費	募金費	53,000	52,500	500
		印刷製本費	1,600,000	1,567,000	33,000
事務消耗品費		50,000	43,100	6,900	
広報費		1,500,000	1,497,953	2,047	

事業費	その他	旅費交通費	30,000	18,900	11,100
		研修費	350,000	319,230	30,770
		研究助成金	300,000	300,000	0
		感謝状伝達費	245,000	243,542	1,458
		小計	4,128,000	4,042,225	85,775
	その他	弔慰費	130,000	110,000	20,000
		雑費（振込手数料）	50,000	46,619	3,381
		雑費（その他）	190,000	184,921	5,079
		小計	370,000	341,540	28,460
	計		6,948,000	6,421,046	526,954
管理費	諸給与	給与手当	3,300,000	3,300,000	0
		福利厚生費	500,000	348,968	151,032
		小計	3,800,000	3,648,968	151,032
	会議費	理事・評議員会他	315,000	305,355	9,645
		旅費交通費	80,000	54,890	25,110
		小計	395,000	360,245	34,755
	需要費	通信運搬費	500,000	377,020	122,980
		対外渉外費	10,000	0	10,000
		事務消耗品費	50,000	47,827	2,173
		賃借料	20,000	19,390	610
		雑費	30,000	22,293	7,707
		小計	610,000	466,530	143,470
	計		4,805,000	4,475,743	329,257
総務費	固定資産取得支出	什器備品購入支出	462,000	462,000	0
		小計	462,000	462,000	0
	特定預金支出	基本財産積立預金	0	0	0
		第3回県民大会引当預金	500,000	500,000	0
		退職給与引当預金	250,000	250,000	0
		減価償却引当預金	250,000	250,000	0
		特別啓発活動引当預金	1,500,000	2,000,000	▲500,000
		小計	2,500,000	3,000,000	▲500,000
	予備費	0	0	0	
	計		2,962,000	3,462,000	▲500,000
当期支出合計 (C)			14,715,000	14,358,789	356,211
当期収支差額 (A) - (C)			▲1,500,000	▲1,905,568	405,568
次期繰越収支差額 (B) - (C)			3,306,851	2,901,283	405,568

## 財団法人富山県アイバンク理事・監事名簿

(平成16年2月26日現在)  
理事35名・監事2名

役職	氏名	
理事長	高田 眞	阪神容器株式会社代表取締役会長
副理事長	大黒 幸雄	株式会社マルチアクセスカンパニー代表取締役
副理事長	本村 哲明	北日本工芸 代表
常務理事	岡本 武勇	元大山中央農業協同組合代表理事組合長
常務理事	野村 謹吉	株式会社ガスコムノムラ代表取締役
名誉理事	井村東司三	井村医院院長
理事	高田 順一	阪神容器株式会社代表取締役社長
理事	金井 澄子	富山県善意銀行副理事長
理事	藤沢 実	司法書士藤沢実事務所
理事	伊勢 豊彦	株式会社セイアグリーシステム代表取締役
理事	笠島 學	医療法人社団紫蘭会光ヶ丘病院理事長
理事	清水 英子	富山県善意銀行理事・富山家庭裁判所調停委員
理事	寺崎 達二	有限会社寺崎樹脂代表取締役
理事	佐伯 吉昭	佐伯外科病院院長
理事	水越 二郎	東洋ガスメーター株式会社代表取締役社長
理事	吉田 和雄	株式会社吉田住宅設備代表取締役会長
理事	牧 亨	東光運輸株式会社代表取締役社長
理事	渡部 佐敏	有限会社タートルライン代表取締役
理事	辻 章	サンワ建物株式会社代表

役職	氏名	
理事	阿部 重一	富山県厚生部長
理事	土田 豊	富山県眼科医会会長
理事	早坂 征次	富山医科薬科大学眼科教授
理事	長木 康典	富山医科薬科大学眼科助教授
理事	舟塚 徹樓	富山県社会福祉協議会専務理事
理事	藤巻 篤子	藤巻眼科医院院長
理事	米山 六博	H15年度1RC
理事	清都 勇之	H15年度2RC
理事	高野 博	H15年度1R1ZC
理事	寺本 龍昭	H15年度1R2ZC
理事	山林 和光	H15年度1R3ZC
理事	道原 英克	H15年度1R四献兼糖尿病教育委員
理事	中村 知呂	H15年度2R1ZC
理事	塚田 敏夫	H15年度2R2ZC
理事	鶴巻 弘文	H15年度2R3ZC
理事	関井まゆみ	H15年度2R四献兼糖尿病教育委員
監事	高瀬 清春	公認会計士高瀬清春事務所
監事	港 勉	高岡広小路郵便局長

※8月26日に理事・監事の改選を予定しております

## 財団法人富山県アイバンク評議員名簿

(平成16年2月26日現在)  
計 48名

氏名	所属
斉藤 博	富山ライオンズクラブ
金川 義雄	富山みなとライオンズクラブ
森 弘	富山雷鳥ライオンズクラブ
原田佳津広	富山水橋ライオンズクラブ
山城 篤志	富山南ライオンズクラブ
笠波 健二	富山東ライオンズクラブ
大上紀美雄	富山平成ライオンズクラブ
岡田 共以	富山ちゅうりっぷライオンズクラブ
長江 三郎	富山高志ライオンズクラブ
林 政範	富山セントラルライオンズクラブ
宮村 栄治	八尾婦中ライオンズクラブ
宮崎 忠一	富山神通ライオンズクラブ
高木 義則	大 山ライオンズクラブ
加藤 竹男	富山西ライオンズクラブ
高見 英生	大沢野ライオンズクラブ
田口 徹忠	富山昭和ライオンズクラブ
木村 昭博	細 入ライオンズクラブ
高倉亜洲夫	滑 川ライオンズクラブ
堀内 康男	黒 部ライオンズクラブ
米田 栄一	上 市ライオンズクラブ
竹腰治一郎	立 山ライオンズクラブ
中山 伸夫	滑川有恒ライオンズクラブ
上田 和男	入 善ライオンズクラブ
沢井 進	魚 津ライオンズクラブ

氏名	所属
水島 翼	朝日町ライオンズクラブ
上野八太郎	高 岡ライオンズクラブ
石灰 昭光	高岡古城ライオンズクラブ
熊木 公一	高岡志貴野ライオンズクラブ
吉田 孝夫	高岡南ライオンズクラブ
杉本 進	高岡中央ライオンズクラブ
藤田 政治	水 見ライオンズクラブ
今村吉太郎	高岡伏木ライオンズクラブ
宝田 保明	新 湊ライオンズクラブ
前田 直樹	小 杉ライオンズクラブ
島田 和芳	大 門ライオンズクラブ
梅木 一隆	砺 波ライオンズクラブ
中村 元昭	小矢部ライオンズクラブ
大野 実留	となみセントラルライオンズクラブ
齋藤 譲一	となみ東ライオンズクラブ
利波 宗雄	富山県善意銀行常任理事兼事務局長
宮岸 武	H14年度1R1ZC
佐賀野昭一郎	H14年度1R2ZC
高源 忍	H14年度1R3ZC
中條八一郎	H14年度2R1ZC
袴 一雄	H14年度2R2ZC
中西 順一	H14年度2R3ZC
頼成 善則	H14年度1R四献兼糖尿病教育委員
常川 清美	H14年度2R四献兼糖尿病教育委員

※8月26日に評議員の改選を予定しております

## 賛助会員ご加入のお願い

アイバンクは、角膜疾患によって目の不自由な方のために献眼者の募集と移植希望者の募集等の事業を行っています。設立以来の献眼登録者は、平成16年6月現在で約18,500名となっており、また、平成16年6月現在までに213名の方が移植手術を受け、視力を回復しておられます。『明日に明るい愛』を合い言葉に一人でも多くの方に光のプレゼントができるよう努力しています。しかし、年間の事業の運営を円滑に行うには多額の資金が必要となり、この事業費は基本財産の運用収入のほか賛助会員費、寄付金収入を主なる財源として充てております。皆様の格別のご理解ご協力をお願い申し上げます。

### 賛助会費

団体・法人会員	年会費	1口	10,000円
個人会費	年会費	1口	3,000円

賛助会員のご加入は、銀行口座振替をお願いしています。  
ご加入については、アイバンク事務局へお問い合わせ下さい。

〒930-0194 富山市杉谷2630

**財団法人 富山県アイバンク事務局**

TEL (076)434-5710/FAX (076)436-0146

### 編集後記

私事ではあるが、先日機会があつて福井市の大安禅寺に参拝し、和尚の講話を聞く事があつた。話そのものは禅僧らしくない今風の漫談流のものであつたが、意とする処は常に我を捨て感謝の気持ちの貴さを知れば、笑顔で生き、元気が益々出てくるような気になるというものであつた。

さて、今年もアイバンクの広報の発行に当たり編集をしたが、視覚の健勝さに感謝しつつ、献眼の重要さをあらためて認識するものです。

広報委員 辻 章  
(小矢部LC)

### ★広報委員

伊勢 豊彦	渡部 佐敏
高田 順一	辻 章
清水 英子	道原 英克
寺崎 達二	関井まゆみ

第10号 平成16年8月1日

発行

財団法人 富山県アイバンク

富山市杉谷2630

富山医科薬科大学眼科内

TEL (076) 434-5710

発行人 高田 眞